

実況中継「土曜講座」

第10号 2023年11月6日発行

市川学園10月28日の土曜講座 於 多目的ホール

辰野 まどか 先生

世界と地球とつながるキーワード、 グローバル・シチズンシップ

一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GIFT) 代表理事



辰野先生のご紹介

2011-2015年 明治学院大学国際学部国際キャリア学科非常勤講師

(Community Development-Service Learning-担当)

2015-2019年 「持続可能な開発のための教育 (ESD) 円卓会議」 委員

2016年～ 東洋大学食環境科学研究科客員教授

2018年～2020年 かながわ円卓会議委員

2019年～ 名古屋NICグローバル人材育成アドバイザー

2020年～ Small Worlds 教育委員会

2021年～日本ESD学会評議員

2022年～日本シチズンシップ教育学会理事

主な講義内容の紹介

今回の講演は辰野まどか先生によるグローバル・シチズンシップのお話でした。グローバル・シチズンシップとは「世界をよりよくする志」持つことです。先生の活動するGIFTはこのコンセプトのもと、中学生から社会人までを対象にさまざまな研修や教育プログラムを行っています。

講演は大きく3つに構成され、①グローバル・シチズンシップ②辰野先生ご自身の話③ペアワークという流れでした。先生のお話にはこういう活動をはじめたきっかけとなった衝撃的な話や、現在までのご経験を熱く語っていただきました。その中でもコンフォートゾーン（日常、楽ちんな場所）から足を踏み出し、ラーニングゾーン（学びがたくさんあるいつもと違う領域）に行くことが成長することにとっても大切であることを強くお話されていました。またペアワークも熱心に取り組んでおり、特に中学生と高校生が真剣に話し合っている姿が印象的でありました。

ペアワーク1 自己紹介、今感じていること、こうみえて私実は…

ペアワーク2 先生の話聞いて気づいたこと、感じたこと、聞いてみたいこと

ペアワーク3 マイグローバル・シチズンシップについて話し合う

質問や発表も積極的にされ、講演終了後にも先生のもとに質問の列ができるほど生徒たちの興味関心の高い、熱いご講演でした。

受講レポートから

・やりたいこととかが見つからなくて、ただ単に生活していたけど、今日の講座を受けて、自分が求めている世界を書いてみると「こんなこと思っていたんだ」とかに気づいて良かったと思います。講座の中に名言とかもあってすごい心に響きました。辰野さんの人生を見させてもらおうと挫折した後急に成長していたりしたので、「失敗は成功のもと」そのものだなと思った。これからは自分のなりたい自分になるために、失敗してもそこから何が得られるかなどを考えてポジティブに行きたいと思った。
(中1女子)



・辰野先生の人生がほんとにすごいなと思いました。17歳で1人でスイスに行ったのがほんとにすごいなと思って、世界に1歩踏み出すと学ぶことがたくさんあるということがわかりました。またこの講座がほんとに楽しくて、高校生の先輩と話することができて嬉しかったです。改めて自分が何をしたいのか、何がきっかけなのかを考えることができました。また海外に行けるように頑張っていきたいと思いました。本当に講座を受けてよかったです。もっとSDGSについて学んで、世界を知りたいと思いました。
(中2女子)



・今まで聞いたり、見たりしてきた話の中で、今日の辰野さんの話は1番自分の成長につながっていくと思いました。自分のturning Pointを書くプリントで、僕は自分の明確なきっかけというのがわかりませんでした。きっかけを見つけたいと書いて相方に発表すると、自分のことをよく知っている相方が自分のきっかけを言ってくれて、きっかけを見つけることができました。これからは世界のことによく注目して様々な考え、文化などを知って自分の考え方を広げたいなと思いました。トビタテについても学べたので、これからも頑張りたいなと思えたあつという間の講義でした。
(中3男子)

・本日の講座で、辰野先生の人生経験について、先生の当時の心情や当時の情景そのままの熱量でお話を聞くことができ、本当に勉強になりました。現時点で自分がスイス行くことが強制されても、学校の勉強や費用に見合う学びを得ることができるかどうかへの不安から出発が決断できないと思うので、先生の行動力をより尊敬しました。Global citizenshipについてのワークシートを書くことで、自分の経験や今の自分の夢を整理し直すきっかけとなり、大学、そして将来の自分が何を軸に学び、世界に活かしていくべきなのかを明確にすることが第1歩であると感じました。
(高1女子)

・友情の最上級は仕事を一緒にすること、という言葉が深く刺さった。自分も将来、今友達である人々そんな関係になろうと思う。今回の講義は私が他に受けた土曜講座とは違い、参加型と言う形だったのであつという間だった。講座の名前がある「グローバル・シチズンシップ」という言葉はこの講座を受けるまで全く知らなかったがペアワークや辰野先生の人生経験の話を通じて深く理解できたと思った。自分のグローバルシチズンシップを大事にしていきたい。(高2男子)

